

住井するゑとその文学の里(三十)

―牛久沼のほとり―

牛久市文化財保護審議委員

栗原 功くりはら いさお

牛久村の概要と歴代村長氏名

牛久村の概要

明治4年(1871年)7月の廃藩置県(府県設置。北海道は明治2年設置)以降、末端の地方公共団体である江戸時代以来の町や村が、小区制や連合村制などへ朝令暮改的に改変されてきた。そんな中で明治21年(1888年)に「地方末端秩序の安定と国政委任事務

遂行を眼目に、郡制・府県制と連係した「市制・町村制が制定され、翌年の施行による全国的な町村合併で江戸時代以来の町や村がことごとく消え去った。

明治22年(1889年)4月1日、牛久村、城中村、田宮村、遠山村、新地村に庄兵衛新田村帰属



昭和初期の牛久城本丸跡



牛久村役場庁舎(ここには現在上町区民会館がある)

の9町6反3畝27歩が合併、牛久村が成立した。

なお、牛久村は昭和29年(1954年)1月1日に町制を施行し、同年4月1日に町村合併促進法に基づき、岡田村との合併で新制の牛久町になった。牛久町は翌年の2月10日に奥野村と合併(編入形式)し、さらに昭和32年(1957年)7月1日に阿見町(旧朝日村域)大字福田の一部向原開拓地区を編入してここに現行の牛久市域が確定した。



牛久尋常高等小学校校舎

《歴代村長氏名》 (敬称略)

- 明治22年5月 入江国五郎(牛久)
- 明治27年5月 佐野俊太郎(牛久)
- 明治27年9月 黒須彦市(牛久)
- 明治28年11月 佐野靖吾(牛久)
- 明治30年11月 会美友(城中)
- 明治31年11月 野島与市(新地)
- 明治36年2月 佐野大五郎(牛久)
- 明治40年2月 佐野靖吾(牛久)
- 明治41年5月 村松貞之助(田宮)
- 大正5年6月 大沢元治(城中)
- 大正9年6月 塚本俊造(牛久)
- 大正14年6月 中島慎太郎(新地)
- 昭和12年2月 塚本俊造(牛久)
- 昭和22年4月 佐野有朋(牛久)
- 昭和23年1月 杉浦由之助(城中)
- 昭和27年3月 吉田虎次郎(牛久)
- ※第5代村長の会美友の会美家は、旧牛久藩主山口家上級家臣で士族。会美家と士族小川家(芋銭)とは親戚である。

※明治22年(1889年)より昭和22年(1947年)の新憲法施行で公選になるまでの町村長の選任について説明しておく。町村会議員の資格は一定以上の納税をする範囲の者に限られ、しかも納税の多寡で一等級議員、二等級議員とに制限され、その町村会議員の互選で町村長が決められた。なお、町村議会と呼ぶのは新憲法施行からだ。